

取組内容

健診当日に病院で特定保健指導を受診

担当者が協会けんぽの資料を活用して個別に啓発

特定保健指導の利用率を向上させるために、健診当日に病院で特定保健指導を受けられる体制を構築している伊勢湾倉庫。健診を受けて自身の健康に対する意識が高まっているタイミングで特定保健指導を受けられるようにしたことで、受診率が大幅に向上した。社内には各部署の代表で構成される安全衛生委員会があり、総務課担当者を中心に社員への啓発活動に積極的に取り組んでいる。



保健指導を担当される健診センターのスタッフ

三重県内  
24機関で健診当日に  
健康サポートを  
利用できます。



詳しくはこちら

プラスアルファ

+αのサポート

協会けんぽ担当者が資料を作成し、社内各部署の代表者で構成される安全衛生委員会で直接説明。特定保健指導を通じた生活習慣改善の重要性の徹底を図った。

取組に至った経緯

特定保健指導の受診を対象者各自の判断に任せていた結果、2、3年前から指導を受ける対象者が減少していた。受診率を高めるための手だてを協会けんぽに相談した結果、協会けんぽから健診を実施している四日市羽津医療センターへ当日に特定保健指導を受けられるように声かけしてもらった。



取組によって生まれた課題 ▷ 改善方法

課題

特定保健指導の受診意欲が以前に比べて低下していた社員に、特定保健指導受診の必要性をあらためて認識してもらう必要があった。

改善

受診対象となりそうな社員に直接説明

協会けんぽが作成しているパンフを活用して、総務課担当者が直接、特定保健指導の重要性を説明。



取組の成果

6割の社員が  
特定保健指導を受診

特定保健指導対象者の6割の社員が当日に特定保健指導を受診することになり、低下していた受診率が大幅に向上した。

取組の担当者の声

特定保健指導の対象となっても今までなら利用してくれなかったであろう方にも受けてもらえるようになりました。当日受診の取組の手応えを感じています。



総務管理部次長 藤井さん

今後の目標や課題

啓発活動を通じて社員の健康への意識を高める

日頃から啓発活動を通じて健康への意識を高めることで、特定保健指導のさらなる利用率向上を図っていく。

伊勢湾倉庫株式会社

●業種:倉庫業

●社員数:131人